

令和7年度 茨城県央地域連携中枢都市圏 若い世代のまちづくり調査・研究事業 分析結果

令和7年秋実施

那珂市 企画部政策企画課

■ 調査概要

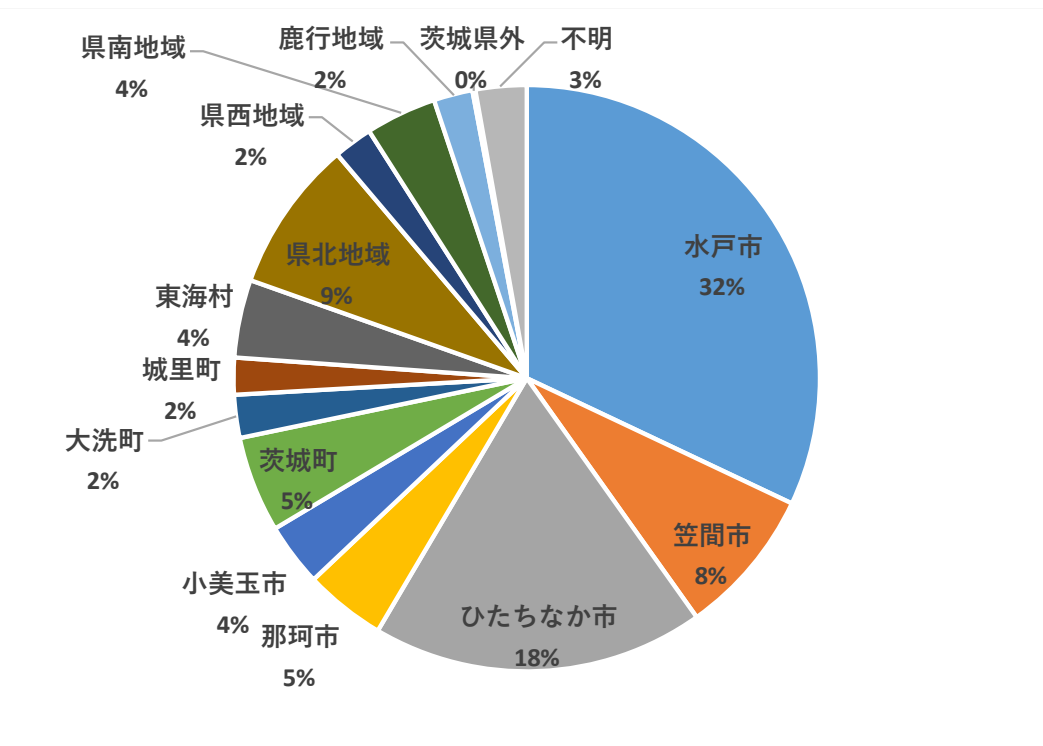
- 調査目的：
高校生や大学生の県央地域にとどまりたいという思いを高め、定住につなげるためには、どのような施策にどのようなタイミングで取り組むと高い効果が得られるかを明らかにする
- 調査対象：
いばらき県央地域連携中枢都市圏内に立地する高校に通う1年生から3年生までの全生徒
- 回答者数：6,795人
- 調査期間：令和6年度から令和8年度まで毎年度秋に実施
(本報告書では令和7年度分を集計)
- 調査方法：アンケートフォームによるWEB回答方式

1. 回答者の属性

1. 居住地

- 居住地別の回答数は以下の通り。那珂市に居住する高校生の回答は304件（4.5%）であった。
- 以降、「那珂市」と「那珂市以外（居住地不明は含まない）」にて集計・比較を行う。

	全体	
	回答数	比率(%)
水戸市	2,176	32.0%
笠間市	553	8.1%
ひたちなか市	1,245	18.3%
那珂市	304	4.5%
小美玉市	236	3.5%
茨城町	360	5.3%
大洗町	161	2.4%
城里町	138	2.0%
東海村	292	4.3%
県北地域	570	8.4%
県西地域	146	2.1%
県南地域	266	3.9%
鹿行地域	146	2.1%
茨城県外	11	0.2%
不明	191	2.8%
合計	6,795	100.0%



2. 高等学校

■ 在籍する高等学校別の回答数は以下の通り。

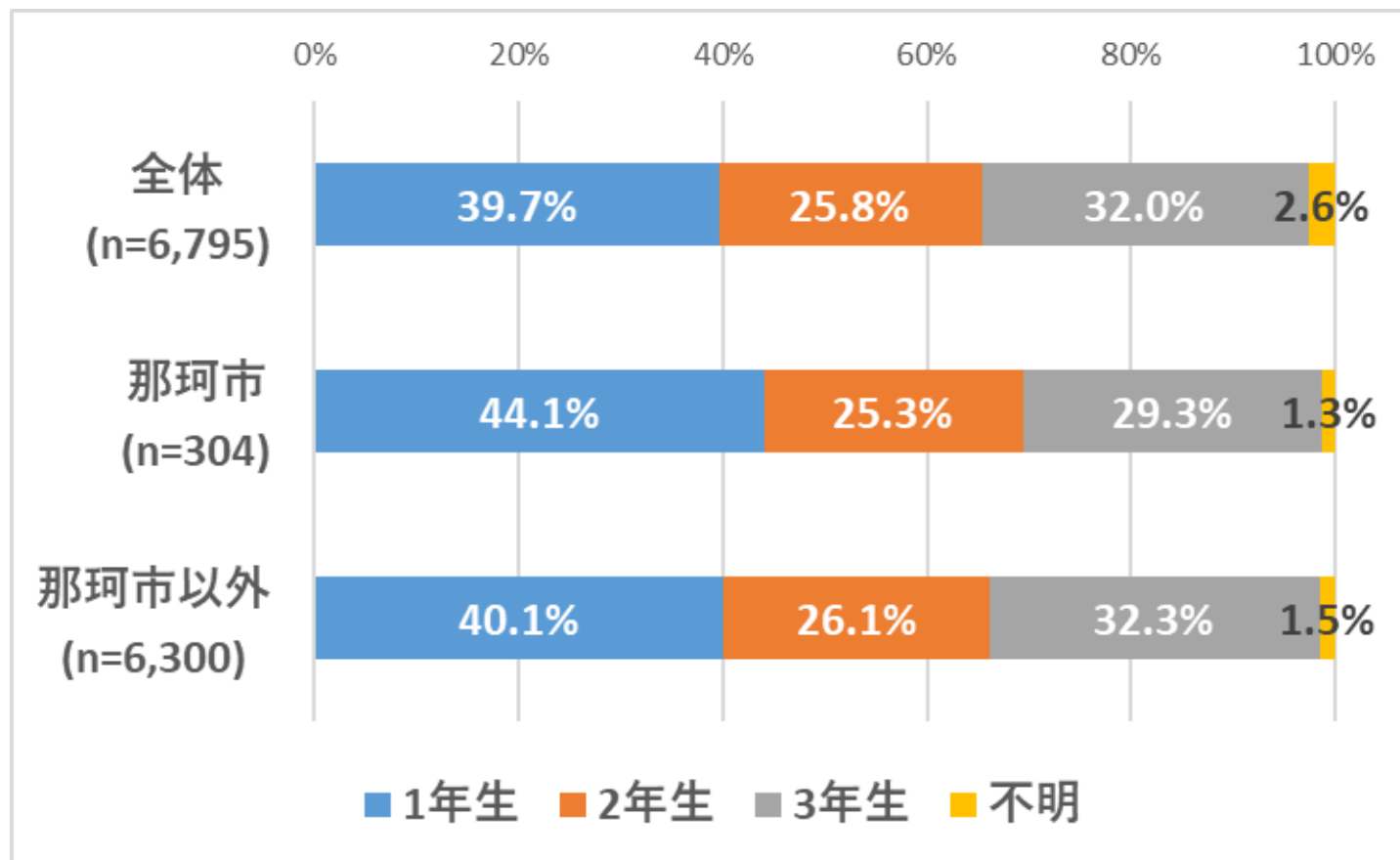
(回答者の居住地不明が191あるため、「那珂市」と「那珂市以外」の合計と「全体」は一致しない)

所在自治体	高等学校名	全体		那珂市		那珂市以外	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
水戸市	水戸工業高等学校	764	11.2%	36	11.8%	705	11.2%
	水戸桜ノ牧高等学校	679	10.0%	28	9.2%	641	10.2%
	水戸商業高等学校	656	9.7%	38	12.5%	602	9.6%
	水戸啓明高等学校	637	9.4%	17	5.6%	596	9.5%
	水戸第三高等学校	511	7.5%	29	9.5%	475	7.5%
	水戸葵陵高等学校	466	6.9%	23	7.6%	433	6.9%
	大成女子高等学校	269	4.0%	14	4.6%	245	3.9%
	水戸第二高等学校	233	3.4%	15	4.9%	208	3.3%
	常磐大学高等学校	170	2.5%	7	2.3%	157	2.5%
	水戸南高等学校(定時制)	74	1.1%	5	1.6%	68	1.1%
	水戸女子高等学校	70	1.0%	1	0.3%	67	1.1%
	緑岡高等学校	24	0.4%	1	0.3%	21	0.3%
	笠間市	笠間高等学校	143	2.1%	0	0.0%	133
IT未来高等学校(定時制)		139	2.0%	7	2.3%	128	2.0%
日本ウェルネス高等学校		74	1.1%	0	0.0%	71	1.1%
ひたちなか市	勝田工業高等学校	491	7.2%	24	7.9%	452	7.2%
	勝田高等学校	211	3.1%	8	2.6%	201	3.2%
	海洋高等学校	118	1.7%	4	1.3%	104	1.7%
	那珂湊高等学校	18	0.3%	0	0.0%	18	0.3%
那珂市	那珂高等学校	115	1.7%	34	11.2%	78	1.2%
小美玉市	中央高等学校	375	5.5%	0	0.0%	366	5.8%
茨城町	茨城東高等学校	60	0.9%	0	0.0%	56	0.9%
大洗町	大洗高等学校	139	2.0%	0	0.0%	136	2.2%
城里町	水戸桜ノ牧高等学校常北校	42	0.6%	0	0.0%	42	0.7%
東海村	東海高等学校	317	4.7%	13	4.3%	297	4.7%
	合計	6,795	100.0%	304	100.0%	6,300	100.0%

3. 学年

■ 学年別の回答数は以下の通り。

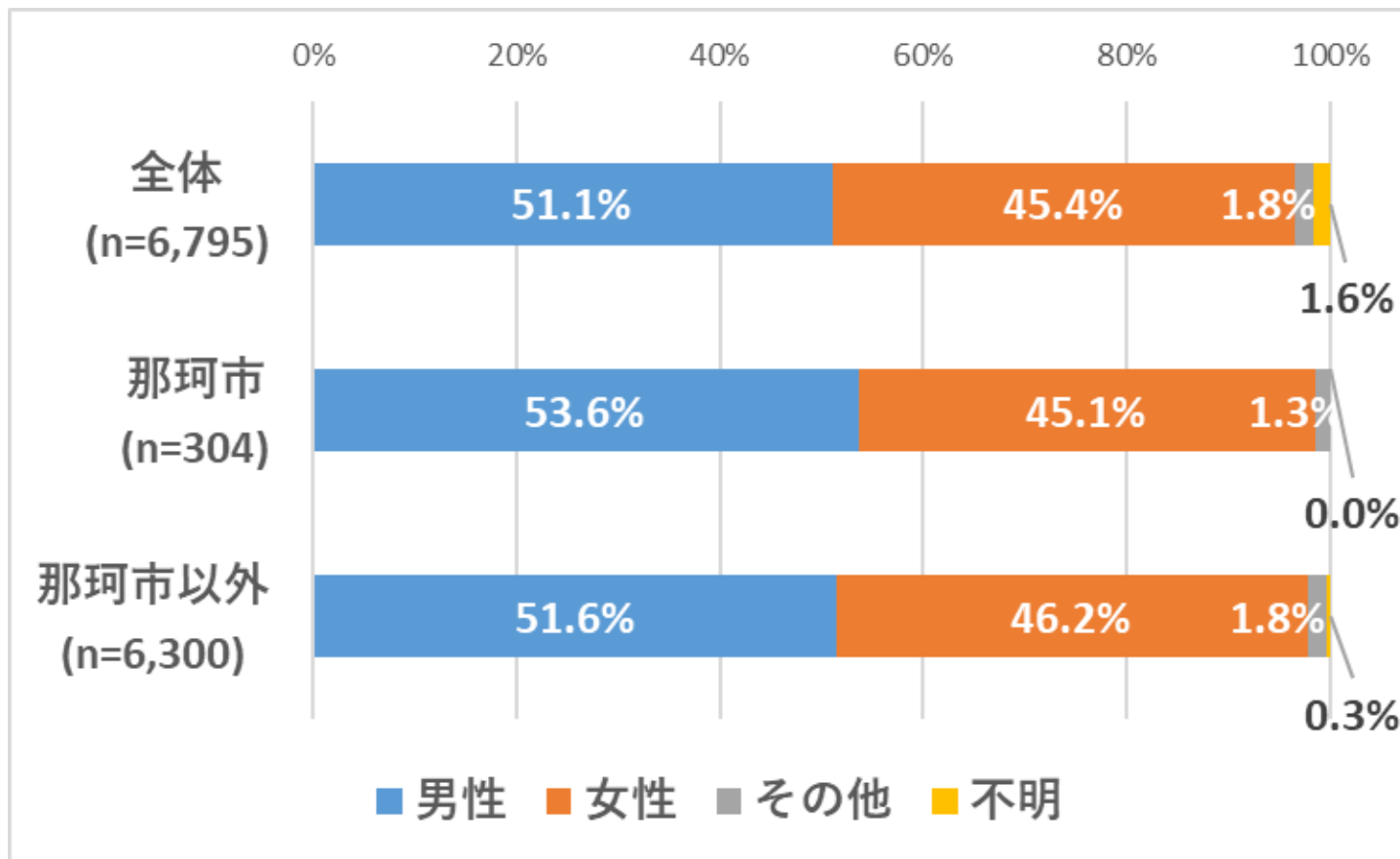
(回答者の居住地不明が191あるため、「那珂市」と「那珂市以外」の合計と「全体」は一致しない)



4. 性別

- 性別の回答数は以下の通り。

(回答者の居住地不明が191あるため、「那珂市」と「那珂市以外」の合計と「全体」は一致しない)



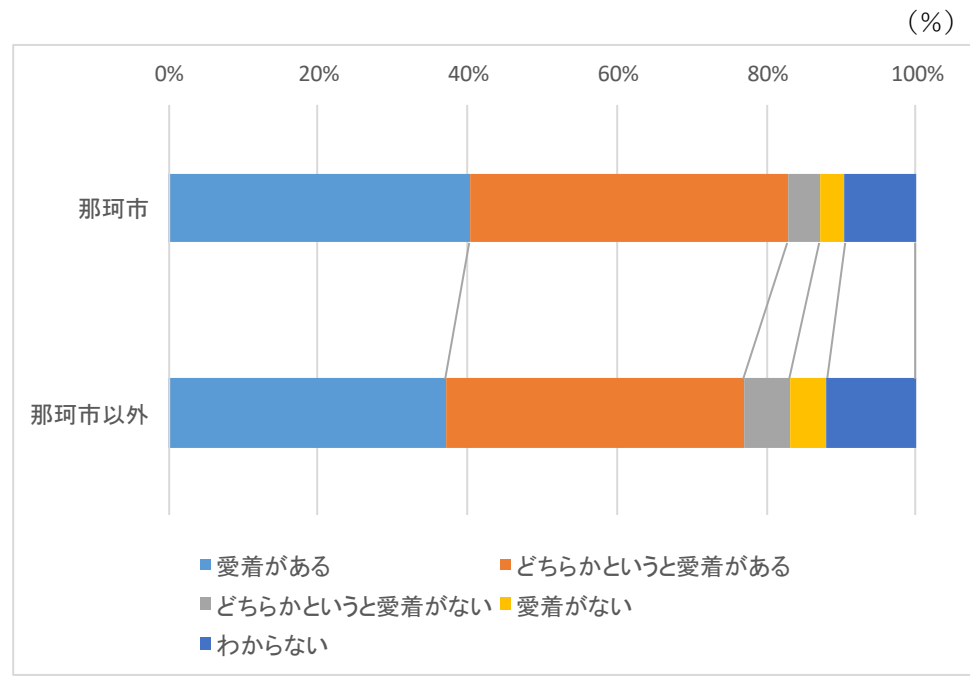
II. 現在の暮らしについて

1. 今住んでいる市町村に対して愛着があるか (SA)

- 「愛着を感じている※」回答が那珂市は8割超で、那珂市以外と比べて多い。
(※「愛着がある」又は「どちらかという愛着がある」の合計)

(%)

	那珂市 (n=301)	那珂市以外 (n=6,272)
愛着がある	40.2	37.1
どちらかという愛着がある	42.5	39.9
どちらかという愛着がない	4.3	6.2
愛着がない	3.3	5.0
わからない	9.6	11.9
「愛着がある」又は「どちらかという愛着がある」	82.7	77.0

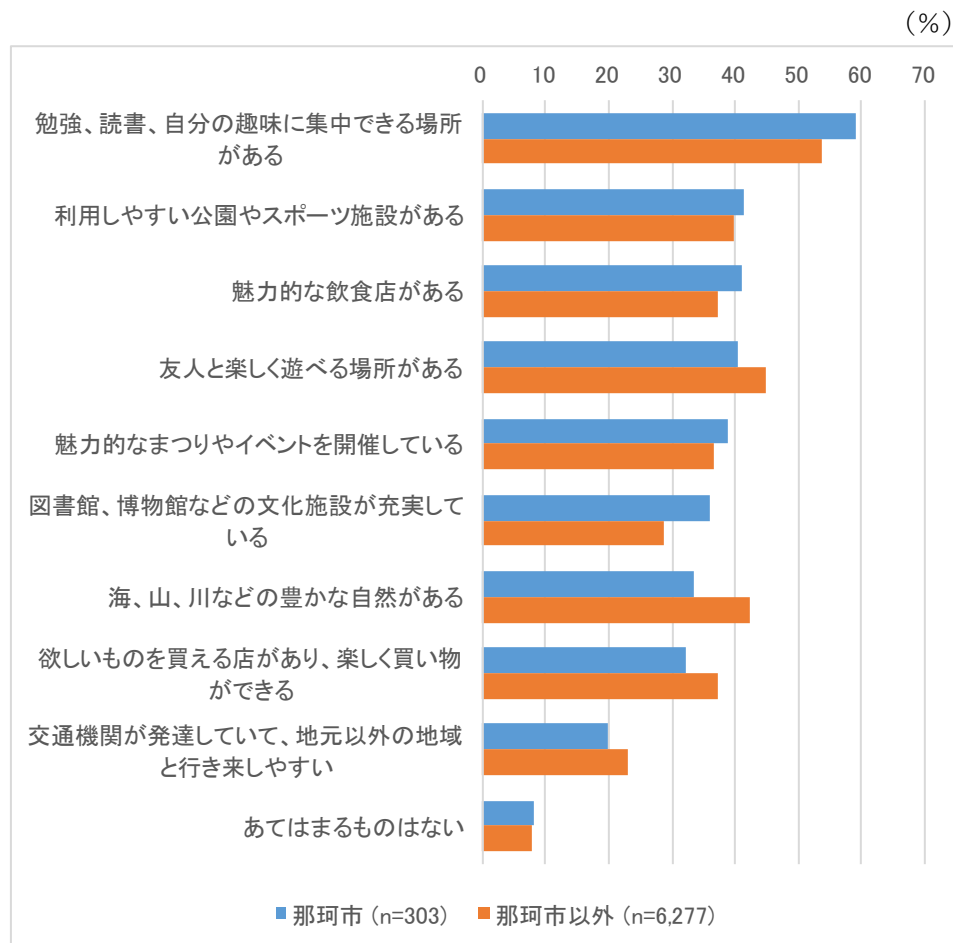


2. 今住んでいる市町村について、あてはまるもの（MA）

- 那珂市・那珂市以外ともに、「勉強、読書、自分の趣味に集中できる場所がある」が7割超で最も多い。
- 那珂市以外と比較すると、「友人と楽しく遊べる場所がある」「海、山、川などの豊かな自然がある」「ほしいものを買える店があり、楽しく買い物できる」が少なく、「勉強、読書、自分の趣味に集中できる場所がある」「図書館、博物館などの文化施設が充実している」が多い。

(%)

	那珂市 (n=303)	那珂市以外 (n=6,277)
勉強、読書、自分の趣味に集中できる場所がある	59.1	53.7
利用しやすい公園やスポーツ施設がある	41.3	39.7
魅力的な飲食店がある	40.9	37.2
友人と楽しく遊べる場所がある	40.3	44.8
魅力的なまつりやイベントを開催している	38.9	36.7
図書館、博物館などの文化施設が充実している	36.0	28.7
海、山、川などの豊かな自然がある	33.3	42.2
欲しいものを買える店があり、楽しく買い物ができる	32.3	37.1
交通機関が発達していて、地元以外の地域と行き来しやすい	19.8	23.0
あてはまるものはない	8.3	7.9



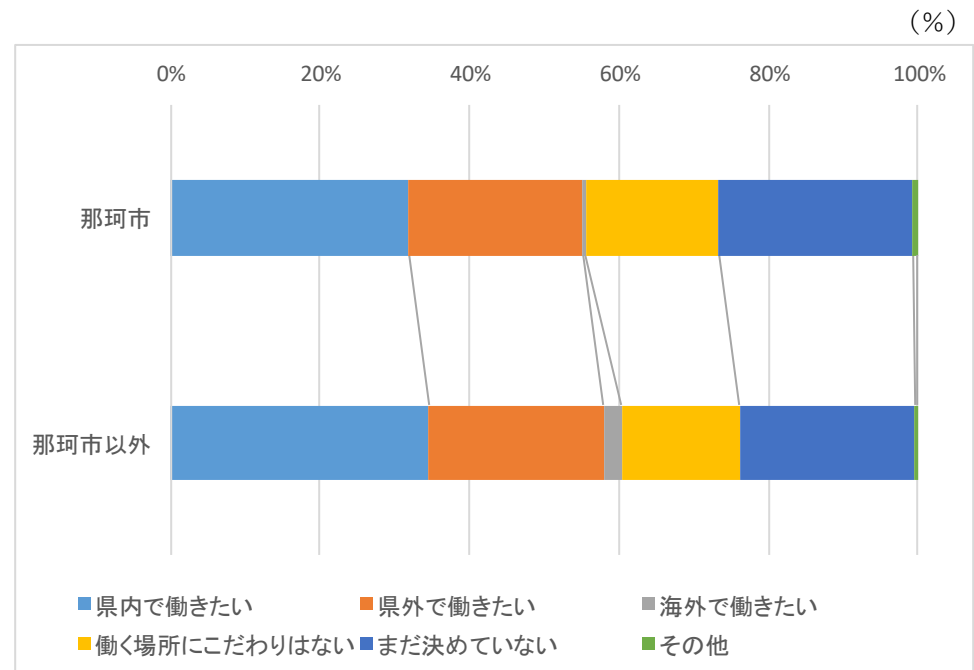
III. 進路に関する考え方

1. 今後、働く場所について (SA)

- 那珂市・那珂市以外ともに、「県内で働きたい」が3割超で最も多い。
- 那珂市以外と比較すると、「県内で働きたい」が少なく、「働く場所にこだわりはない」「まだ決めていない」が多い。

(%)

	那珂市 (n=301)	那珂市以外 (n=6,252)
県内で働きたい	31.9	34.6
県外で働きたい	23.3	23.4
海外で働きたい	0.3	2.4
働く場所にこだわりはない	17.9	15.8
まだ決めていない	25.9	23.4
その他	0.7	0.5

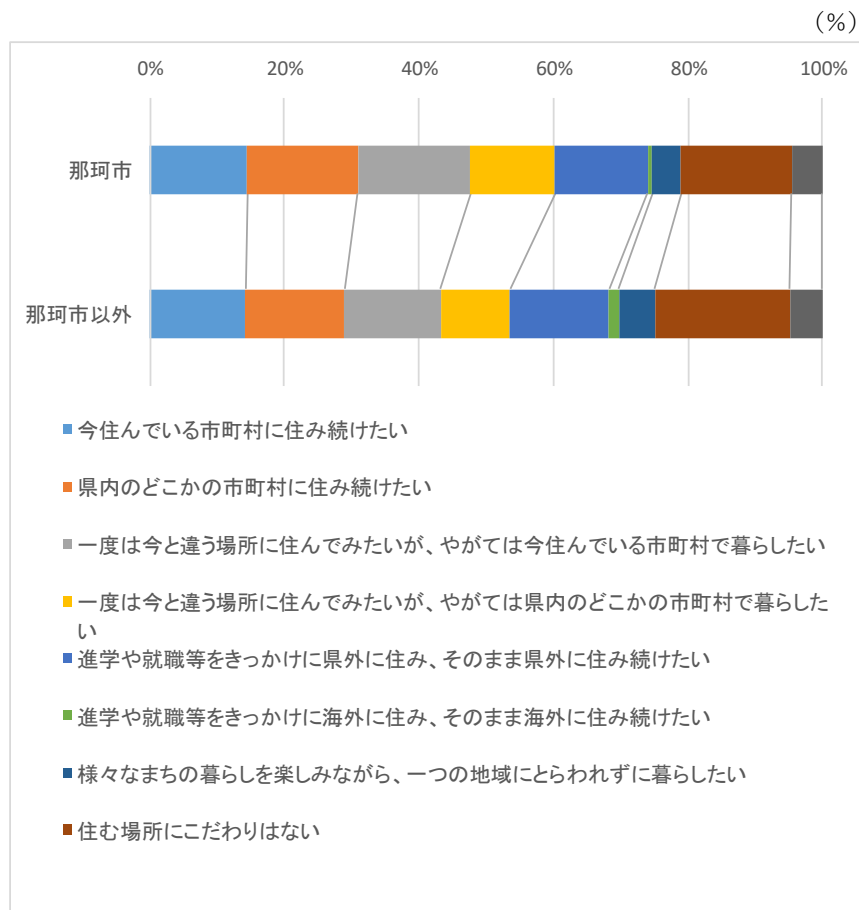


2. あなたが将来住む場所

- 「今住んでいる市町村に住みたい※」回答が那珂市は3割超と、那珂市以外と比べてやや高い。
（※「今住んでいる市町村に住み続けたい」「一度は今と違う場所に住んでみたいが、やがては今住んでいる市町村で暮らしたい」の合計）
- 那珂市以外と比較すると、「一度は今と違う場所に住んでみたいが、やがては県内のどこかの市町村で暮らしたい」も多く、「住む場所にこだわりはない」が少ない。

(%)

	那珂市 (n=304)	那珂市以外 (n=6,258)
今住んでいる市町村に住み続けたい	14.5	14.2
県内のどこかの市町村に住み続けたい	16.4	14.7
一度は今と違う場所に住んでみたいが、やがては今住んでいる市町村で暮らしたい	16.8	14.4
一度は今と違う場所に住んでみたいが、やがては県内のどこかの市町村で暮らしたい	12.5	10.3
進学や就職等をきっかけに県外に住み、そのまま県外に住み続けたい	13.8	14.7
進学や就職等をきっかけに海外に住み、そのまま海外に住み続けたい	0.7	1.5
様々なまちの暮らしを楽しみながら、一つの地域にとらわれずに暮らしたい	4.3	5.3
住む場所にこだわりはない	16.4	20.2
あてはまるものはない	4.6	4.8
今住んでいる市町村に、「住み続けたい」または「やがては暮らしたい」	31.3	28.6



IV. アンケート結果から得られる示唆

1. アンケート結果から得られる示唆

■ ① 地元への愛着は高いが、就業地としての希望度は低い

- 那珂市の高校生は、今住んでいる市町村に「愛着を感じている」割合が8割を超え、他市町村よりも高い傾向にある。
- また、将来「今住んでいる市町村に住みたい」という回答も3割超と他よりやや高くなっている。
- 一方で、将来働く場所については「県内で働きたい」が最多であるものの他市町村よりは少なく、「働く場所にこだわりはない」「まだ決めていない」層が多いのが特徴となっている。愛着の高さから、定住化、Uターンのポテンシャルはあると考えられるため、就業地としての認知を高める施策が必要であると考えられる。

■ ② 静かに集中できる環境への評価は高いが、遊び買い物できる場所としては低評価

- 市の環境について「勉強、読書、自分の趣味に集中できる場所がある」「図書館、博物館などの文化施設が充実している」と評価する声が他より多く、休日は一人で遊ぶのを楽しむ傾向もある。
- 反面、「友人と楽しく遊べる場所」「ほしいものが買える店」は少ないと感じられてる。関心の高い「エンタメ」「ファッション」に接触できるよう、周辺自治体との連携やアクセス向上が期待される。